

編集後記

5 月 22 日から神戸で始まるはずだった第 105 回日本精神神経学会が新型インフルエンザで中止となり、一時はどうなるのかと心配したが、そのまま神戸で 8 月 21 日から延期開催されることになった。小島卓也理事長と前田潔会長をはじめとする関係者のご尽力に感謝申し上げたい。

医学の進歩は感染症との戦いでもあるが、今回の流行は医学を越えた“社会的大騒ぎ”の観があった。街の光景からマスク姿だけを切り取って強調したニュース画面を見るにつけ、目に見えないもの＝“得体の知れないもの”に対する人々の恐怖心を改めて教えてくれたような気がする。

“得体の知れないもの”といえ、古代から精神疾患がその代表であろう。フロイトが「夢は無意識への王道」であるといい、無意識という“得体の知れないもの”を夢という視覚的なもので説明しようとしたのは実に暗示的である。というのも、医学に限らず科学の進歩は「目に見えないものを、目に見えるようにする」歴史でもあるからだ。今日では精神医学でも、エビデンスとは目に見える画像であり数値なのだ。となると、精神疾患や症状を目には見えないかたちで思弁的に説明しようとする精神病理学に勢いがなくなるのも当然の流れか……という気もしてくる。

個人的感慨はさておき、精神医学では睡眠といえ夢がずっと取り上げられてきたが、近年では精神疾患における睡眠の様態の研究が進んでいる。しかし日常臨床ではまだ、睡眠障害は個々の疾患に随伴する副次的な一症状としてしか認識されていないことが多い。そこで本号では、「精神疾患と睡眠マネジメント」を特集として、最新の知見をそれぞれの専門家に書いていただいた。いわば、睡眠から精神疾患を見たもので、臨床にも大いに役立つと思われる。

今回は「研究と報告」はないが、「私のカルテから」と「精神医学」への手紙はキメ細かな臨床観察から得られたもので、短文にもかかわらず(手紙は 1 頁足らず)示唆に富むものであろう。脳波、画像、神経伝達物質、脳機能、ゲノムと精神疾患の解明が急速に進んでいるが、未開拓の原野や未知の深い森が延々と続いている。機器を使った“大規模開発”に劣らず、手でコツコツと耕したり手探りで歩む作業もまた、新たな発見をもたらしたり大きな可能性のきっかけとなる。夢の解明はこのどちらによって果たされるのだろうか。それとも、ずっと見果てぬ夢のままであったほうがいいのだろうか。(M.I.)

■ 編集委員

飯森真喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

(ABC 順)

精神医学 (第 51 巻 第 7 号)

2009 年 7 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2009 年 年ぎめ予約購読料 30,600 円・MedicalFinder パーソナルオプション付 39,800 円 (税込, 送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。